



産卵期のオスの成魚は暗褐色で、縦縞模様は目立たない。婚姻色だと思われる。北方湖産

ハゼ科 チチブ属

【全長】10cm

シモフリシマハゼ

学名: *Tidentiger bifasciatus*

分布域

日本全国に分布する。

生息域

主に汽水域に生息し、泥底～砂泥底を好む。



メスは産卵時期にも縦縞模様が現れる。

体形は円筒状でややずんぐりとする。頭部がわずかに縦扁し、成魚は頬部が膨らむ。体色は暗褐色から乳白色まで大きく変化し、乳白色時は吻端から両体側中央を通り尾柄部まで2本、頭部から背中線をはさんで背部に2本、計4本の黒色縦状が現れる。頬部を中心に、しもふり状に淡色の斑点が視られる。主に汽水域の砂泥底部に生息する。産卵期は春～夏で石やカキ殻などの下面に産卵し、オスが単独で卵を保護する。普段は単独で生活する。食性は雑食性で藻類や底生動物を食べる。

水槽での飼育は可能。比較的丈夫で汽水～真水まで順応する。餌は冷凍赤虫や配合飼料に慣れ、小型の甲殻類もよく食べる。

在来種

汽水魚

※ 飼育下では多種と混泳させると、小魚を追い掛け回している。混泳させない方が無難。通常時の体色は乳白色～暗褐色まで著しく変化する。産卵期のオスは主に暗褐色でこれは婚姻色だと思われる。